

2018年11月29日

スズキ、平成30年度JNCAPで小型乗用車2車種が最高評価 ～「ソリオ／ソリオ バンディット」が予防安全性能評価で最高評価の「ASV+++」を獲得～ ～「クロスビー」が衝突安全性能評価で最高評価の「ファイブスター賞」を受賞～



ソリオ



クロスビー



スズキ株式会社の予防安全技術「スズキ セーフティ サポート」を搭載した小型乗用車「ソリオ／ソリオ バンディット」^{※1}が、平成30年度JNCAP^{※2}予防安全性能評価において、最高評価となる「ASV^{※3}+++（トリプルプラス）」を獲得した。

また、小型乗用車「クロスビー」^{※4}が、平成30年度JNCAP^{※2}衝突安全性能評価において、最高評価となる「ファイブスター賞」を受賞した。

JNCAP^{※2}は、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA^{※5})が自動車の安全性能を評価し、結果を公表する制度である。

予防安全性能評価は、予防安全装置の性能を評価するもので、「衝突被害軽減制動制御装置 [対車両]」、「衝突被害軽減制動制御装置 [対歩行者]」、「車線逸脱抑制装置等」、「後方視界情報提供装置」、「高機能前照灯」、「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の評価点を合計したものと、今年度より4段階の評価が行われ、「ASV+++」が最高評価となる。

衝突安全性能評価は、自動車の総合的な衝突安全性能を評価するもので、「乗員保護性能評価」、「歩行者保護性能評価」、「座席ベルトの非装着時警報装置(シートベルトリマインダー)評価」の3項目での評価点を合計したものと、5段階の総合評価が行われ、「ファイブスター」が最高評価となる。

スズキは、お客様の安心・安全な運転を支援する予防安全技術「スズキ セーフティ サポート」を様々な車種に展開し、今後も安全技術の取り組みを強化してクルマの安全性を向上させていく。

試験結果詳細(NASVAホームページ) http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/

※1 対象車は、ソリオ HYBRID SZ、HYBRID SX、HYBRID MZ、HYBRID MX (スズキ セーフティ サポート装着車)の全方位モニター用カメラパッケージ装着車。及びソリオ バンディット HYBRID SV、HYBRID MVの全方位モニター用カメラパッケージ装着車。全方位モニターは対応ナビゲーションの装着を前提とした仕様。

※2 JNCAP : Japan New Car Assessment Program

※3 ASV : Advanced Safety Vehicle

※4 対象車は、クロスビー HYBRID MZ、HYBRID MX スズキ セーフティ サポートパッケージ装着車。

※5 NASVA : National Agency for Automotive Safety and Victims' Aid